

淳風会東郷会員の皆様へ

事務局 尾上昌人

いつも淳風会東郷にご協力ありがとうございます。

おかげさまで、道場を開いて丸2年がたちました。毎回の練習をにぎやかに、楽しくすごすことができますのは、皆様ご父兄のご協力あってのことと心から感謝しています。

今回、登母先生とも相談し、秋の募集を見送ろうと思っています。私たちは、新規の会員募集は現会員のご子弟にも刺激を与え、会を活性化させるものとして、とても大切にしています。

しかし、もう少し現会員の皆様の上達を優先しようと考えました。来春、新規募集をしますので、それまでじっくりと上達を図りたいと思います。時にはご子弟には厳しいことも言いますが、何卒ご理解をおねがいします。

そんな訳で、この秋から冬の期間私たちはとても大切な期間だと考えています。今回はこれからの道場運営について思う所を皆様にお伝えしたく思います。

当会は「指導料」を頂いていません。完全なるボランティアです。頂いた会費は運営経費と使っていて、残りはプールしています。長久手から毎回出張して下さる水田師範にも「交通費」程度でご了解いただいています。常心門は全てその方針です。空手道場の場合、月額6000円～1万円の所もありますが、私たちは「一緒に子育て」を目指していますので、なるべく家計のご負担を減らしたいと考えています。そうはいつでも、何かと物入りで申し訳ありません。(笑)

そのため、今後どうしても欲しいのは、大人の「指導員」です。帯の色が白から黒まで6種類ありますから、本来は6人以上の指導員が必要なんです。指導員は、「黒帯(初段以上)」で、指導員の志をもって下さる方をお願いするのが我々の方針です。私たち夫婦も初めは、「長男が空手を辞めないための監視役」として空手をはじめ、徐々に空手の魅力に引きつけられて指導員となりました。もし、ご父兄の中で、「監視役」でも「ダイエット」でもいいのですが、「空手をはじめたい」と思われる方は是非お試しください。

お仕事、家事でお忙しい中、出張等で毎回出れないなど制約条件は承知しています。私たちもそうでした。それでも、私たちは「指導員」になっていただくメリットを実感しています。なにより、子供たちは口には出しませんがうれしいものです。新しいことへの挑戦を義務づけられている子供たちにとって「親の挑戦する姿」は何よりの支えです。我が子2人は、結局「反抗期」を意識したことがありません。いつも共通の話題である空手の

話をしていたので様々な情報交換ができていたように思います。また、「よその子供を指導する」ことで、自分の中に子育ての核ができたように思います。

今、真名は大学生ですが、昔と違って大会などでは、親同伴が大半です。親同士が仲良くなつてすごく楽しいですよ。我が家では空手は家族の貴重なつなぎ役です。

また、常心門は大人には杖（じょう）や棒（ぼう）のコースもあります。私は沖縄に行った時、古武道の魅力に開眼しましたが、「古流現代」を自称する常心門では、黒帯になるとさらに道は広がっていきます。生涯付き合える数少ない武道、流派だと思っています。

会員の親御さんは無料体験を2ヶ月とさせていただきます。初めはストレッチだけでも結構ですので「われこそは！」と思われた方は是非ご検討ください。（無理はしないで下さいね。）

さらに会員の弟さんや妹さん等もご入会のご意向があればご相談下さい。来年4月からはまた多くの入会者を迎えることになると思いますので、この秋冬の期間に丁寧にゆっくりスタートされるのはいかがでしょうか？

さて、秋は定例にしたい「おやじ会」をしたいですね。（もちろんお母さん、おじいちゃんも可）去年は盛り上がりました。12月は淳風会大会、お楽しみ会、茶話会を予定しています。淳風会東郷ますます盛り上げていきたいです。どうかこれからもよろしくおねがいします。

2012.10.15